



発行元・編集／山本辰哉 連絡先／090-7549-7659 E-mail／mttatsu1@gmail.com URL／<http://www.tatsuya-yamamoto.com/>

## Cocoro net

皆さんこんにちは、岩国市議会議員の山本辰哉です。

ペンを執る今日は3月10日、スギ花粉襲来の真っ只中です。早く落ち着いてもらいたいものですね。さて、3月定例会一般質問では「河川整備の緊急性」と「避難情報の伝達を迅速にする為の取り組み」について市の見解を伺いましたのでご報告いたします。

質問内容と答弁 Q: 山本 A: 市

### ☆河川整備の現状について

#### 経年劣化が著しい近延川周辺の護岸対策について（河川課）……………

南河内郵便局周辺の護岸強化対策について市の見解を問う

市としてもその緊急性は充分承知しているので県に対して強く要望していく

**Q** 市内でも錦川に繋がる河川は多く存在するが、僅か900メートルの区間が、約3年間で4か所も崩壊した近延川の護岸は、もはや地域住民の命を守る護岸としての体を成していない。その中には昨年発生した南河内郵便局裏の護岸崩壊は、大変緊迫した状態であった。その後、応急処置はされたものの未だ復旧には至ってない。更に懸念されるのが、郵便局周辺には民家が隣接し、同様の老朽化護岸が多く存在する。その為、まとまった雨が降るたびに、不安な生活を余儀なくされる皆さんのお気持ちを察すれば、非常に胸が痛む。

そこでお伺いするが、このような明らかに経年劣化が原因で頻発する非常事態を、事前に解消する手立ては無いのか？明確な答弁を求める。

**A** 南河内郵便局裏の完全修復については4月末までに完了させると聞いている。また、事前の対応について河川の護岸が崩壊した場合には災害復旧事業等によりコンクリート製の大きなブロックで作り直すのが一般的だが基礎の一部が壊れたり、老朽化した護岸の対策として「張コンクリート」や「コンクリート根継ぎ」をすることができるので、県に対して強く要望していく。



<裏面へつづく>

## ☆河川整備の現状について

### 堆積土の除去とその緊急性について（河川課）

川底に溜まった堆積土の除去は急務ではないのか？市の見解を問う

県より点検結果の緊急度に応じて実施していくと伺っている

**Q** 平成26年の豪雨災害を機に河川の状態はすこぶる悪く、その代表的なものが川底に堆積した土砂である。これらが日増しに増加し、更にその上は大量の草で覆われ、正直水がどこを通るのかすら分かり辛い状態となっている。この状態で本当に川としての機能を果たすのか疑わざるを得ない。これら2級河川の整備が県の事業であるとは言え、その地域を管轄する岩国市がこれらをどう考え、またどのように県と連携して改善していくのかを問う。

**A** ご指摘の集中豪雨においては市内各所で道路・河川その他、公共施設にも被害が及んだ。河川では錦川をはじめ2級河川や砂防河川等の中小河川にも被害が生じ、災害復旧事業の工事等において河川内の堆積土の除去を実施した。

今後も引き続き、定期的に行っている河川の巡視・点検結果や背後の土地利用等の緊急度に応じて、順次、堆積土の除去等を実施して参りたいと県から伺っている。

## ☆災害時の情報伝達システムについて

### 避難情報の伝達を迅速にする為の取り組みについて（危機管理課）

災害時の情報伝達を更に迅速にする為の取り組みについて問う

防災ケーブルラジオ・携帯電話へ一斉に送信できる新システムを構築する

**Q** 昨年的一般質問において、全国的に受信できる緊急地震速報のように、市内の人命に関わるような事態には、緊急速報メールを発信していく事が決定した。今後更に防災無線や携帯電話による避難情報等の伝達を、更に迅速にする為の改善策について問う。

**A** 2017年度、防災無線や携帯電話に一斉送信する新システムを構築するとともに、それに関連したスマートフォン向けアプリケーションの開発を進めていく。

防災ケーブルラジオは一世帯に一つ無料で付きます。今すぐ申請を！

## 徒然記

表紙の写真は、数え年で七年に一度開催される伝統文化「近延・葛洲の願舞」です。

家内安全・五穀豊穡を願い、国の重要無形民俗文化財に指定されている「行波の神舞」が奉納されます。伝えたいもの、それは歴史や伝統文化の薫りですね。^^

☆今日の一句☆ 山里に 伝統薫る 神の舞

